

The outline of 14th R&D symposium

第14回 JR東日本R&Dシンポジウム 「未来の鉄道への展望～次代の鉄道システムをめざして～」について

R&Dシンポジウムは、当社の研究開発の取組みを社内外にアピールするとともに、社外の著名な方々のご講演などを通して今後の研究開発の動向を見極め、当社グループにおける研究開発を推進することを目的として開催しています。メインテーマは、当社の研究開発戦略に関わるもので、その時々ビジョンにあったものを選び設定しています。過去13回のシンポジウムでは、情報技術、コストダウン、顧客サービス、安全で正確な鉄道、環境、新幹線、産学連携などをメインテーマとし、先端技術の紹介や情報の共有化を図ってきました。

当社は昨年4月に会社発足20周年を迎え、未来の創造に向けて新たにスタートしました。そこで第14回目となる今回は、「未来の鉄道への展望～次代の鉄道システムをめざして～」をテーマとして、2008年2月13日に開催しました。プログラムは図1のとおりです。

本誌では、このシンポジウムにおける講演等についてご紹介いたします。

13:30～ 13:35	オープニングスピーチ	東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長	清野 智
13:35～ 14:25	基調講演 「科学・技術と未来社会」	国際基督教大学 オスマー科学特別教授 東京大学名誉教授	村上 陽一郎氏
14:25～ 15:35	講演 「若手研究開発者が描く 20年後の鉄道システム」	全体概要	東日本旅客鉄道株式会社 技術企画部 課長 田中 康裕
		オペレーションの革新	JR東日本研究開発センター 先端鉄道システム開発センター 課長 国藤 隆
		魅力ある鉄道車両	JR東日本研究開発センター 先端鉄道システム開発センター 課長 藤野 謙司
		駅のイノベーション	JR東日本研究開発センター フロンティアサービス研究所 課長 中川 剛志
		メンテナンスの革新	JR東日本研究開発センター テクニカルセンター 課長 小関 昌信
	映 像		
15:35～ 16:05	コーヒーブレイク		
16:05～ 17:30	パネルディスカッション 「20年後の駅と鉄道への期待」	パネリスト 同僚重研アーキテクチャー・ネットワーク 代表 神戸芸術工科大学 教授	岡部 憲明氏
		東京電機大学 未来科学部 情報メディア学科 教授 東京大学名誉教授	安田 浩氏
		プロダクト・デザイナー	山中 俊治氏
		株式会社博報堂 生活総合研究所 上席研究員	山本 貴代氏
		コーディネーター 東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本研究開発センター フロンティアサービス研究所長	長谷川 文雄
17:30～ 17:35	クロージングスピーチ	東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長	橋口 誠之

図1：第14回R&Dシンポジウム プログラム

(役職は開催時のものです。)